

合意手法問題視

小泉防潮堤計画
有志が県に要望書

気仙沼市小泉地区の有志で組織する「小泉海岸及び津谷川の災害復旧事業を考える会」が25日、県気仙沼土木事務所に要望書を提出

た」と判断した県の姿勢に対し、出席会員数と半数を超える賛成が明確ではなく、「合意とはいえない」と指摘した。

阿部正一さん（小泉町）ら3人が同事務所を訪れて要望書を提出した後、「事業に反対しているのではない。住民の対立を防ぐため、協力者も含めてもっと話し合う時間がほしい」と語った。

なお、小泉地区振興会連絡協議会が、7振興会の会長連名で県や市などに24日提出した要望書では、「懇談会で地区全体の総意をとりまとめた結果に基づくと」として、防潮堤の早期完成などを要望している。

要望書は住民9人と小泉出身者1人が連名で提出。小泉海岸防潮堤と津谷川堤防について、「三つの地域振興会で説明して合意を得

小泉海岸や津谷川の堤防に関する県の説明会は、27日午後6時30分から小泉小学校体育館で開かれる。